

なぜ教科書はタダなの？

ひがし

通算第 90 号

2023.9.15 No.4

一年生が入学の時に教科書をも
らいます。その教科書入れている袋
の裏には、こんなことが書かれてい
ます。

保護者の皆様へ

お子様のご入学おめでとうござい
ます。

この教科書は、義務教育の児童・
生徒に対し、国が無償で配布して
いるものです。

この教科書の無償給与制度は、
憲法に掲げる義務教育無償制度の
精神をより広く実現するものとし
て、時代をになう子どもたちに対
し、我が国の繁栄と福祉に貢献し
てほしいという国民全体の願いを
込めて、その負担によって実施され
ております。

一年生として初めて教科書を手
にする機会に、この制度にこめられ
た意義と願いをお子様にお伝えに
なり、教科書を大切に使うよう御
指導いただければ幸いです。

文部科学省

1961年まで教科書は、無償では
ありませんでした。

教科書は無償にするための闘い
は、高知市長浜、土佐湾に臨む半農
半漁の部落で起こりました。この地
域は仕事らしい仕事に恵まれず、母
親たちの多くは失業対策事業に出
て働いていました。その賃金は一日
働いて約三百円。教科書代は、小学
校で約七百元、中学校になると約
千二百円で、かなりの負担でした。

母親たちは、学校の教師と学習
会を行っていました。その中で憲法
26条「すべて国民は、法律に定め
るところにより、その保護する子女
に普通教育を受けさせる義務を負
う。義務教育は、これを無償とす
る。」を学び、地域の人々とともに
「教科書をタダにする会」を結成し
ました。この会は、集会や、署名活
動、多くの団体に働きかけ、内閣総
理大臣や文部大臣に意見書を提出
しました。激しい闘いの末、国会で
も取り上げられ、1963年に「義
務教育諸学校の教科用図書の無償
に関する法律」が成立し、ついに、教
科書が無償になったのです。

教科書を入れる袋に書かれてい
る文章にはこんな、お母さんたちの
闘いや願いがあったのですね。

東飯田地区人権講演会

東飯田地区人権講演会が4年
ぶりに開催されます。

この講演会はもともと東飯
田小学校の研修部が中心とな
り、東飯田幼稚園、東飯田中学
校のPTA、地区同啓が実行委
員会を作って行ってきた部落問
題について学ぶための講演会で
す。

地域の多くの方が参加して
くださるとうれしいです。

お待ちしております。

十月十八日(水)十九時開会

東飯田小学校 体育館

「ハート降るこのえ」

